

目次

	平成23年2月期 第1四半期決算概要	P 2
	当期の取組と業績見通し	P12
	今後の成長戦略と株主還元	P 20
補足	建資料	P 26

お問い合わせ

E-Mail: tfir@treasure-f.com TEL: 03-3880-8822

会社案内サイト (会社情報・IR情報) http://www.treasurefactory.co.jp

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。 また、資料の内容は資料作成時に弊社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。 投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

平成23年2月期 第1四半期決算概要

平成23年2月期 第1四半期 損益計算書概要

サマリー

売上高1,514百万円(前年同期比20%増)、経常利益118百万円(同15%増)、 四半期純利益69百万円(同52%増)

第1四半期会計期間は、既存店・前期出店店舗が利益計画を上回って推移し、 全社でも利益計画を上回った

(単位:千円)

	平成22年2月期第1四半期	平成23年2月期 第1四半期	前年同期比	平成22年2月期
売上高	1,255,065	1,514,732	120.7%	5,230,786
売上総利益	831,933	997,058	119.8%	3,402,675
(売上総利益率)	66.3%	65.8%	_	65.1%
販管費	729,073	879,168	120.6%	3,044,171
(販管費率)	58.1%	58.0%	_	58.2%
営業利益	102,859	117,890	114.6%	358,504
(営業利益率)	8.2%	7.8%	_	6.9%
経常利益	102,763	118,348	115.2%	357,551
(経常利益率)	8.2%	7.8%	_	6.8%
四半期(当期) 純利益	45,303	69,290	152.9%	176,004
(四半期純利益率/ 当期純利益率)	3.6%	4.6%	-	3.4%

POINTS

売上高は前年同期比20.7%の 増収。

新店売上及び前期出店店舗の 増収効果があった一方、既存 店は3月に前年の反動もあり前 年同期比△1.5%減収。

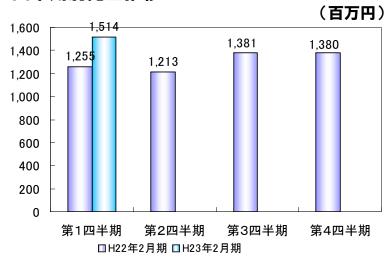
売上総利益率は65.8%となり、 前年同期に対し0.5%低下。既 存店は前年同期比0.1%低下。

販管費率が前年同期比0.1% 低下。

経常利益は118千円となり、前年同期比15.2%の増益、経常利益率は7.8%となり、前年同期に対し0.4%低下。

四半期業績の推移

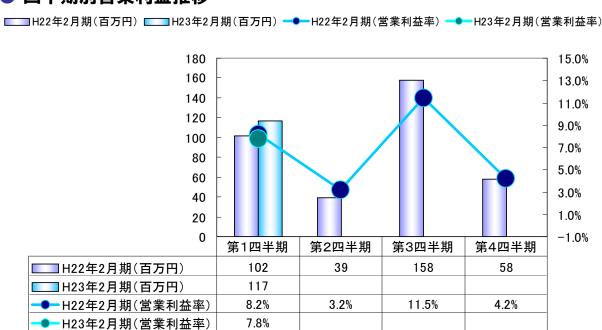
● 四半期別売上推移



POINTS

当期第1四半期の売上高は1,514 百万円、営業利益は117百万円、 営業利益率7.8%となった。

● 四半期別営業利益推移



商品別仕入実績•事業別商品別販売実績

● 商品別仕入実績(単位:千円)

品目	仕入高	構成比	前年同期比
生活雑貨	74,266	12.7%	142.2%
衣料•服飾雑貨	261,183	44.5%	148.3%
電化製品	155,962	26.6%	109.8%
家具	40,029	6.8%	105.7%
ホビー用品	37,309	6.4%	126.0%
その他	18,094	3.0%	98.9%
合計	586,846	100.0%	128.6%

● 事業別商品別販売実績(単位:千円)

事業	品目	売上高	構成比	前年同期比
	生活雑貨	192,940	12.7%	106.4%
	衣料•服飾雑貨	677,713	44.7%	148.2%
	電化製品	378,095	25.0%	100.3%
直営事業	家具	162,822	10.8%	110.7%
	ホビー用品	96,171	6.4%	108.4%
	その他	3,769	0.2%	409.9%
	小計	1,511,512	99.8%	120.7%
FC事業		3,220	0.2%	122.2%
	合計	1,514,732	100.0%	120.7%

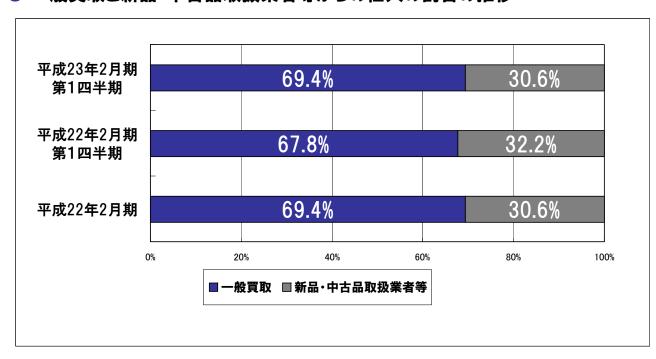
POINTS

衣料・服飾雑貨が引き続き 好調に推移し、前年同期比 48.2%の増収。

前年同期に好調だった電化 製品は前年同期比横ばいと なった。

仕入経路別仕入実績

● 一般買取と新品・中古品取扱業者等からの仕入の割合の推移



POINTS

一般買取の構成比が前年 同期に比べ1.6%増加し、 69.4%となった。

店舗区分別売上・利益 前年同期対比

● 売上高

区分	H21年2月期以前	H22年2月期	H23年2月期
	出店店舗	出店店舗	出店店舗
前年同期比	98.5%	890.5%	_

● 売上総利益

区分	H21年2月期以前 出店店舗	H22年2月期 出店店舗	H23年2月期 出店店舗
前年同期比	98.3%	963.9%	_
売上総利益率	66.6%	66.4%	58.3%
前年同期差	-0.1%	5.0%	_

● 営業利益

区分	H21年2月期以前 出店店舗	H22年2月期 出店店舗	H23年2月期 出店店舗
前年同期比	95.3%	(<u>*</u>)	_
営業利益率	23.6%	19.7%	-37.7%
前年同期差	-0.8%	(₹)	_

^(※)前期の営業利益が赤字であるため、表示しておりません。

POINTS

既存店(H21年2月期以前出店店舗) は、売上高は前年同期比△1.5%の 減収、売上総利益率は66.6%となり、 前年同期に対し0.1%低下。営業利 益率は前年同期に対し、0.8%低下。

前期出店店舗は売上総利益率が 66.4%、営業利益率が19.7%となった。

新店(幕張店)も順調な立ち上がりを 見せた。

既存店の状況

既存店:H21年2月期以前出店店舗

既仔店∶H21年2月期♭ ————	(単位:千円)		
	平成22年2月期 第1四半期	平成23年2月期 第1四半期	前年同期比
既存店の買取件数(件)	100,133	101,874	101.7%
既存店の一般買取額(千円)	292,218	311,940	106.7%
既存店の一般買取単価(円)	2,918	3,062	_
既存店の販売件数(件)	400,202	402,778	100.6%
既存店の売上高(千円)	1,202,672	1,184,486	98.5%
既存店の販売単価(円)	3,005	2,941	_

POINTS

既存店の買取は件数は前年 同期比1.7%増加、単価は上 昇。

既存店の販売は件数は前年 同期比0.6%増加、単価は下 落。

販売費及び一般管理費の推移

(単位:千円)

	平成22年2月期 第1四半期	平成23年2月期 第1四半期	前年同期比	平成22年2月期
人件費	365,911	423,610	115.8%	1,491,000
対売上高比率	29.2%	28.0%	_	28.5%
賃借料	150,907	191,594	127.0%	644,727
対売上高比率	12.0%	1 2.6%	_	12.3%
広告宣伝費	23,549	26,672	113.3%	100,872
対売上高比率	1.9%	1.8%	_	1.9%
その他	188,705	237,291	125.7%	807,570
対売上高比率	15.0%	15.6%	_	15.4%
販管費合計	729,073	879,168	120.6%	3,044,171
対売上高比率	58.1%	58.0%	_	58.2%

POINTS

販管費率は58.0%、前年同期 比0.1%減少。

貸借対照表概要

(単位:千円)

	平成22年2月期末	平成23年2月期 第1四半期末	前期末増減額
流動資産	1,290,232	1,240,825	-49,407
(構成比)	55.5%	54.0%	_
固定資産	1,036,211	1,056,060	19,848
(構成比)	44.5%	46.0%	_
総資産	2,326,444	2,296,886	-29,558
流動負債	956,201	884,737	-71,464
(構成比)	41.1%	38.5%	_
固定負債	356,792	353,689	-3,103
(構成比)	15.3%	15.4%	_
負債合計	1,312,994	1,238,426	-74,568
(構成比)	56.4%	53.9%	_
純資産	1,013,450	1,058,460	45,010
自己資本比率	43.6%	46.1%	_

POINTS

当第1四半期会計期間末における 資産合計は、商品が68,610千円増加した一方で、現金及び預金が 110,312千円減少したこと等により、 前事業年度末と比較して29,558千 円減少し、2,296,886千円となった。

当第1四半期会計期間末における 負債合計は、短期借入金が78,000 千円増加した一方で、未払法人税 等が85,590千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して74,568 千円減少し、1,238,426千円となった。

当第1四半期会計期間末における 純資産合計は、当第1四半期会計 期間に計上した四半期純利益によ り利益剰余金が69,290千円増加し たこと等により、前事業年度末と比 較して45,010千円増加し、1,058,460 千円となった。

キャッシュ・フロー計算書概要及び設備投資額

(単位:千円)

	平成22年2月期 第1四半期	平成23年2月期 第1四半期	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,922	-69,718	-126,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	-59,793	-89,029	-29,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	103,713	48,434	-55,278
現金及び現金同等物の増減額	100,841	-110,312	_
現金及び現金同等物の期末残高	356,520	352,585	-3,935

	平成22年2月期 第1四半期	平成23年2月期 第1四半期	前年同期 増減額
設備投資額	29,577	29,036	-540
減価償却費	17,853	24,791	6,938

POINTS

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ110.312千円減少し、352.585千円となった。

主な増減要因

(営業活動によるキャッシュ・フロー) 税引前四半期純利益 +118,348千円 減価償却費 +24,791千円 法人税等の支払額 -110,753千円 たな卸資産の増加額 -68,974千円

(投資活動によるキャッシュ・フロー) 店舗新設に伴う有形固定資産の取得による 支出 -66,955千円 敷金及び保証金の差入による支出 -19,800千円

(財務活動によるキャッシュ・フロー) 短期借入金の純増額 +78,000千円 長期借入れによる収入 +50,000千円 長期借入金の返済による支出 -57,720千円 配当金の支払額 -21,428千円

当期の取組と業績見通し

平成23年2月期 業績予想

POINTS

第1四半期会計期間は、既存店・前期出店店舗が利益計画を上回って推移し、 全社でも利益計画を上回った。

通期業績は売上高は前期比23%増の64億円、経常利益は同5.2%増の3.76億円を計画、新規出店は9~10店を計画。

第2四半期累計期間の利益予想は上方修正(H22年7月9日公表)。

	平成22年2月期	平成23年2月期 通期予想	前期比	平成23年2月期 第2四半期 累計期間予想	前年同期比	H22年7月9日 業績予想修正
売上高(百万円)	5,230	6,481	23.9%	2,972	20.4%	
営業利益(百万円)	358	377	5.2%	153	7.8%	
(営業利益率)	6.9%	5.8%	_	5.1%	_	
経常利益(百万円)	357	376	5.2%	153	7.9%	
(経常利益率)	6.8%	5.8%	_	5.1%	_	
当期純利益(百万円)	176	177	0.6%	80	25.5%	
(当期純利益率)	3.4%	2.7%	_	2.7%	_	
1株あたり当期純利益(円)	14,628.06	67.42	_	31.61	_	

[※]平成22年3月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって株式の分割を行っております。

[※]平成22年4月14日に公表いたしました平成23年2月期の第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。詳しくは、 平成22年7月9日に公表いたしました「平成23年2月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参 照ください。通期の業績予想につきましては、平成22年4月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

平成23年2月期計画達成に向けた取組項目

具体的な取組項目

既存店の 継続的強化 総合リユース業態の 新規出店 5~6店舗を計画 服飾専門リュース業態の 新規出店 3~4店舗を計画

販売ポイントサービス「トレポ」活用によるリユース事業強化

他社提携やインターネット活用による買取強化

リユースショップポータルサイト「うるハピ」の展開強化

新規事業への取組み

財務

H22年6月、7月に公募増資等により242百万円を調達 ▶当期の新規出店投資に充当、あわせて財務基盤を強化

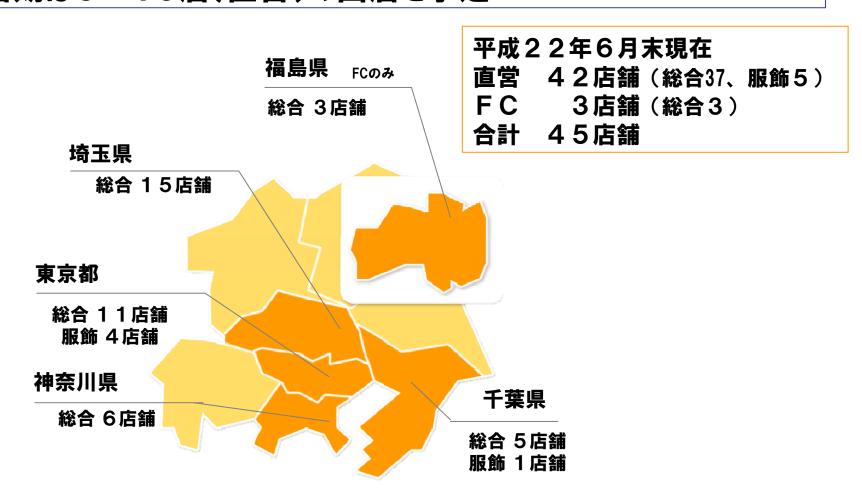
全社的テーマ

多店舗展開モデルの確実な推進

- ▶着実な店舗展開による収益基盤の拡大
- ▶一店舗、一店舗を確実に育て、利益を積み重ねていく

店舗ネットワークの拡大

前期9店(FC1店含む)の出店に引き続き、 当期は9-10店(直営)の出店を予定



※総合:総合リユース業態「トレジャーファクトリー」

服飾:服飾専門リユース業態「トレジャーファクトリースタイル」

新規出店の進捗

トレジャーファクトリーをH22年4月に幕張、6月に大船(横浜市)にオープン 今後も総合リユース業態、服飾専門リユース業態の出店を計画





H22年4月オープン トレジャーファクトリー 幕張店

過去最高のオープン日 売上を記録 H22年6月オープン トレジャーファクトリー 大船店

神奈川6店舗目の店舗として オープン

平成22年5月 販売ポイントサービス「トレポ」を直営全店導入

トレジャー・ファクトリーが発行する買取メンバーズカードに、 新しいポイントサービスである販売ポイント「トレポ」(※)を導入 ※トレポは、トレジャーファクトリーのお買い物で「貯めて」「使える」ポイントの名称です

【従来の買取ポイントカード】

売る場合!

買取金額10円で1ポイントを付与!ポイントに応じて、 買取金額UPクーポンプレゼント! さらに



【販売ポイントサービスがスタート】

買う場合!

商品ご購入で 100円につき1トレポ貯まる! 貯まったトレポは、1トレポ=1円で使える!

今後は、従来の買取ポイントサービスによる買取促進に加え、 販売顧客へのサービス強化及びマーケティング機能の強化を進 める

引越会社との提携による出張買取強化

提携事例 (H22年2月~5月)

引越しのダック、ウィンローダー社と3社提携し、引越顧客に対し、 出張買取、エコ回収サービスそして引越サービスをまとめて提供

3社合同 買取×回収×引越しのスタンプラリーキャンペーンの概要



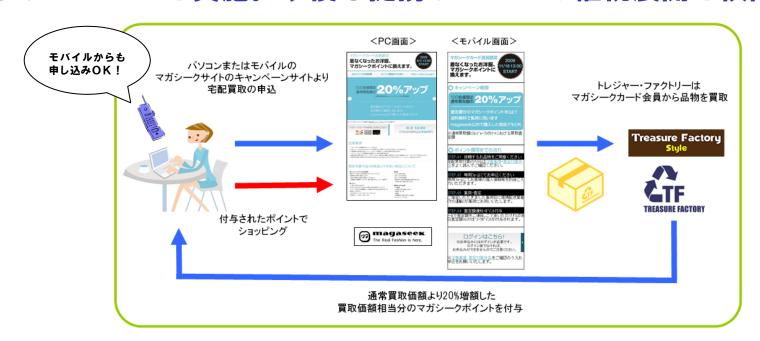
不用品の買取、回収、引越しを行っている3社の連携により、幅広く顧客ニーズに対応。

引越顧客からの出張買取依頼の増加に寄与。

マガシーク社との提携による宅配買取強化

提携事例 (H21年8月~)

日本最大級のファッションECサイトを運営するマガシーク社と オンライン提携し、マガシークカード会員を対象にした宅配買取 キャンペーンを実施。今後も提携サービスの継続展開を検討。



マガシーク社のファッション感度の高い顧客からの宅配買取を増やし、良質なリユース品の一般買取を強化

今後の成長戦略と株主還元

中期事業方針

直営店舗網の拡大を事業の軸に、首都圏での店舗網の更なる拡大及びその他の地域への店舗を展開し、継続的な事業成長を実現

リユースショップ ビジネスモデルの 継続強化

+ リユースショップの + 年間二桁出店

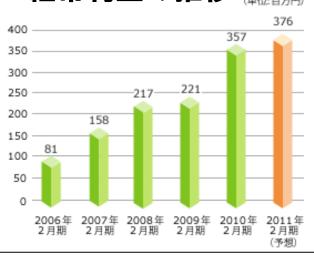
新規業態・新規 事業の開発 ⇒ 売上高・利益の 継続成長を実現

売上高の推移



過去3期の平均売上高成長率

経常利益の推移



過去3期の平均経常利益成長率

124%

133%

ビジネスモデルの強化





買取・仕入

幅広い品揃えを支える 多様な買取チャネル

- ●ワンストップで多種多様なモノを 買い取る買取力
- ●POSシステムをベースにした査定 システムにより査定の平準化を 実現





商品化・店舗作り

不用となったモノを 宝物にする工場の役割

- ●きれいで安心して利用できるお店
- ●一品モノとの出会いを演出する売り場
- ●店舗の数だけ独自の売り場がある 50店あれば50通りのお店がある



POINT

販売

2つの店舗業態とWebチャネル を組み合わせた販売力

- ●常に商品が入れ替わる鮮度の 高い売り場
- ●POSシステムにより一品一品の 売買情報の蓄積と在庫期間の 適正管理を実現



年間2桁出店の実現

多店舗展開の加速

年間2桁出店を目指す

● 複数業態を組み合わせた直営店の出店

総合リユース業態 「トレジャーファクトリー 」



+

服飾専門リユース業態 「トレジャーファクトリースタイル」

Treasure Factory
Style

&

● 出店エリアを徐々に拡大

一都三県へのドミナント出店

+

隣県への出店

株主還元について

利益配分に関する基本方針

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題と認識しており、株主還元と内部留保の充実による財務基盤の強化のバランスを勘案して、業績に応じ継続的に配当を行うことを基本 方針としております

平成23年2月期の配当

平成23年2月期の配当につきましては、 1株当たり10円の期末配当を予定しております

※業績の推移により適宜配当金額は見直しを行います。



※当社は2010年(平成22年)3月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって株式の分割を行っております。2009年2月期および2010年2月期の配当額は、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の配当額を記載しております。

株主優待

当社株式を保有の株主様に対し、オリジナルクオカード1,000円、プレゼント抽選券、 買取金額アップクーポン券をセットにした「トレジャーチケット」を進呈いたします。

【平成22年2月期 オリジナルクオカード】



将来目標

中期目標

1都3県を中心にドミナント出店により 店舗網を拡大していきます。



長期 目標 徳川幕府を超える300年続く会社を目標に、持続的に成長し、 世界規模でリサイクルビジネスを展開する

補足資料

会社概要 / 経営理念

会社概要

(平成22年5月末現在)

会 社 名 株式会社トレジャー・ファクトリー

創 立 平成7年5月25日(1995年5月25日)

代 表 者 代表取締役社長 野坂 英吾

本 社 所 在 地 東京都足立区梅島三丁目32番6号

従業員数 246名 (パートタイマー等は含まれておりません)

資 本 金 238,700千円

決 算 月 2月

発 行 済 株 式 数 2.428.000株

事業内容

リユースショップの運営 店舗数:1都4県に44店舗

▶直営店:41店舗 総合リユース業態「トレジャーファクトリー」 :36店舗

(平成22年5月末現在)

服飾専門リユース業態「トレジャーファクトリースタイル」: 5店舗

▶ F C店: 3店舗

リユース品のインターネット販売・買取

Webサイトの運営

会社案内サイト (http://www.treasurefactory.co.jp/)

店舗案内サイト (http://www.treasure-f.com/) 買取サイト (http://www.treasurekaitori.com/)

スタイルWeb (ユーズドセレクトショップ) (http://www.tf-stvle.com/)

中古・リユースショップ検索コミュニティサイト「うるハピ」(http://www.uruhapi.com/)

経営理念

トレジャーファクトリーは人々に 喜び・発見・感動 を提供します

社 名

(宝物の工場)「価値の再生工場」

トレジャー・ファクトリー

そこでしか買えない一品モノを豊富に取り揃え

お客様は、不用品を売るのも買うのもワンストップ

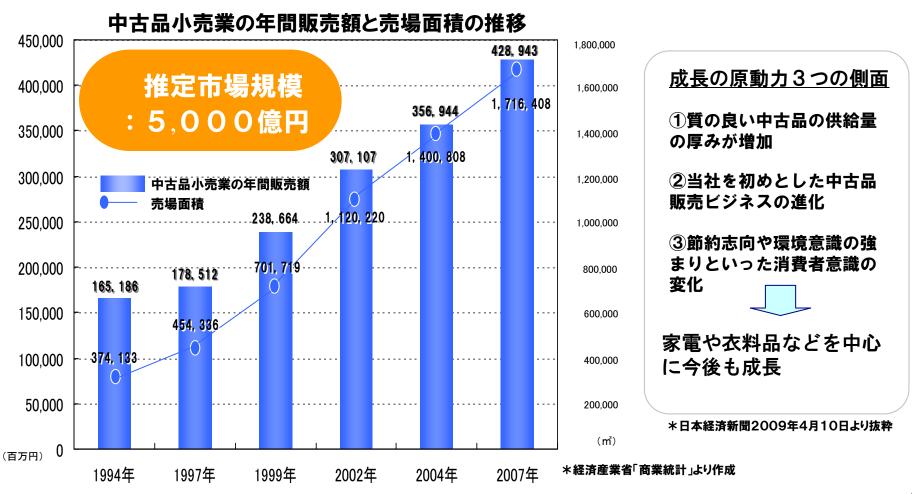
買う喜びと売る喜び、他にない一品モノの商品を発見する楽しさを提供する

沿革

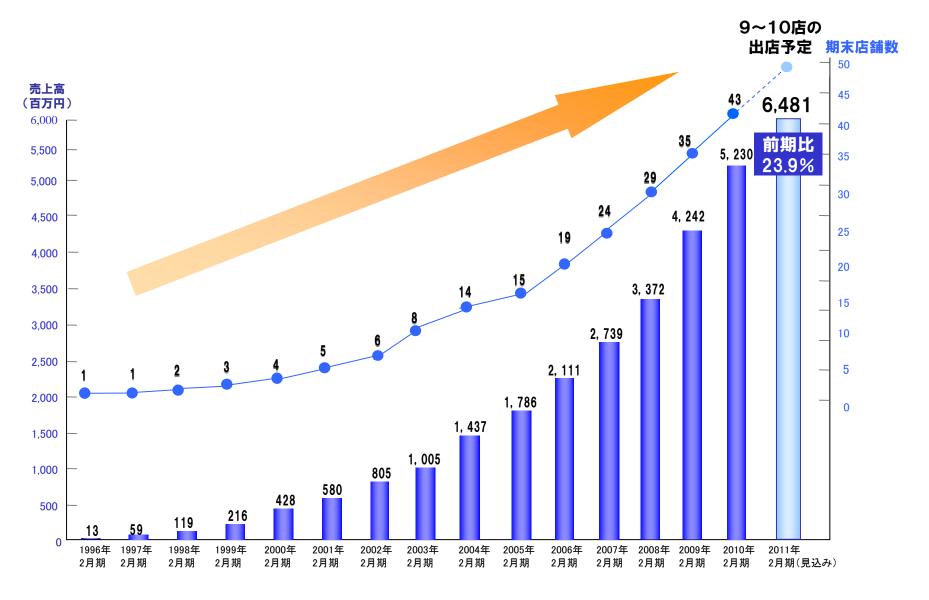
1995年 5月	神奈川県横浜市に有限会社トレジャー・ファクトリーを設立
1995年10月	東京都足立区舎人に当社第1号店となる総合リサイクルショップ「トレジャーファクトリー足 立本店」を開店
1998年11月	埼玉県に初進出 埼玉県草加市に「トレジャーファクトリー草加店」を開店
1999年12月	資本金を1,000万円に増資し、株式会社に組織変更
2000年 9月	東京都足立区入谷に物流センターを開設
2002年 5月	東京都足立区竹の塚に本社を移転
2003年 2月	東京都足立区入谷に物流センターを拡張移転
2003年 3月	神奈川県に初進出 神奈川県横浜市に「トレジャーファクトリー鶴見店」を開店
2004年 7月	FC事業を開始 福島県いわき市にFC1号店「トレジャーファクトリーいわき鹿島店」を開店
2006年 1月	千葉県に初進出 千葉県千葉市に「トレジャーファクトリー若葉みつわ台店」を開店
2006年10月	取り扱い品目を衣料・服飾雑貨等に絞った新業態店舗事業を開始 千葉県千葉市にユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル フレスポ稲毛店」を 開店
2007年12月	東京証券取引所マザーズに株式を上場
2008年 2月	東京都足立区梅島に本社を移転
2010年 2月	「トレジャーファクトリースタイル」オンラインショップをオープン

事業環境~拡大を続ける中古品マーケット~

中古品小売業界は、エコをキーワードにした環境意識の高まりに加え、 景気動向が厳しくなる中で、より良いものを安く購入したいという消費者ニーズの強まりから、 その市場規模は引き続き、拡大が予想される。



売上高推移と店舗数推移



店舗業態の紹介



総合リユース業態

リユースショップ「トレジャーファクトリー」

直営 36店舗 (FC3店舗)

「トレジャーファクトリー」は、当社の 主力業態で、平成22年5月末現在 1都3県に直営店36店舗、福島県 にFC店舗を3店舗展開しています。





Treasure Factory Style

服飾専門リユース業態

ユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル」

直営 5店舗

「トレジャーファクトリースタイル」は、 衣料・服飾雑貨専門のリユース ショップとして、ユーズドのウェア、 時計、バッグ、アクセサリー、シュー ズ、アウトドアブランドなどを取り 揃えた新感覚のユーズドセレクト ショップです。





店舗紹介 【平成22年2月期 新規出店店舗(抜粋)】

Treasure Factory



H21年4月オープン東久留米店



H21年6月オープン川崎野川店



H21年8月オープン中央林間店



H21年9月オープン上板橋店

Treasure Factory Style



H21年9月オープン 町田成瀬店 (ユーズドセレクトショップ)



H21年11月オープン稲城若葉台店

取扱商品カテゴリーの紹介

生活雑貨















衣料·服飾雑貨









取扱商品カテゴリーの紹介

家具





ホビー用品











トレジャーファクトリースタイル オンラインショップを2月1日からスタート

ユーズドセレクトショップ「トレジャーファクトリースタイル」のWEBサイト(スタイルWeb) にショッピング機能を追加。オンラインショップの商品はハイブランドなものを中心に そろえ、既存の店舗に劣らない品揃えを提供。



リアル店舗とWebチャネルの併用により商品を売り切る体制へ